

業務用ロスナイ システム部材 寒冷地運転用回路

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

形名

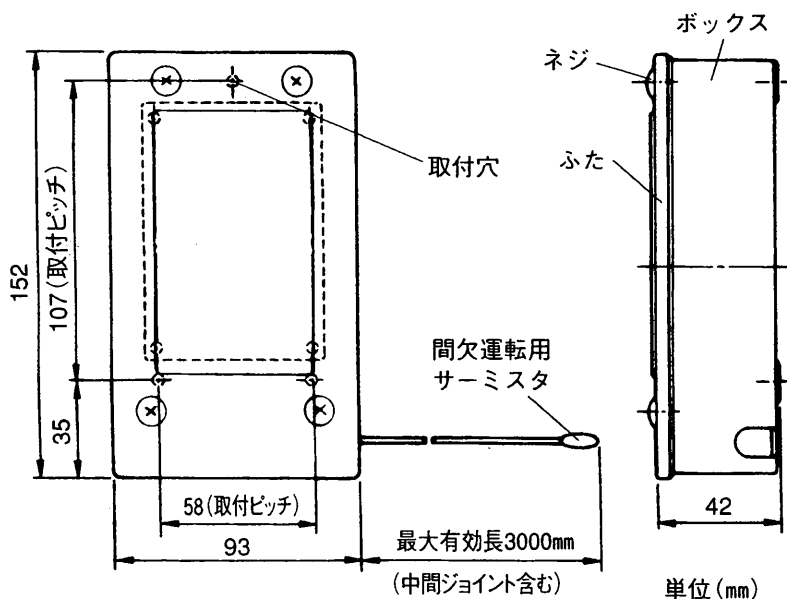
PZ-50KU2

形名	793 428
コード	

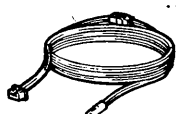








この寒冷地運転用回路は、業務用ロスナイ本体に取付け、さらに寒冷地運転用回路に接続した間欠運転用サーミスタをロスナイ本体の給気側（OA）に取付けることにより、外気温度を検知して給気用送風機を間欠運転します。

取付工事は寒冷地運転用回路取付工事マニュアルをお読みください

各部のなまえと外形寸法図



付属部品

間欠運転用サーミスタ …… 1個  (リード線3000mm付)	コードブッシュ …… 2個 
コードクリップA …… 10個 	チューブ…… 1本 
スクリューキャップ …… 3個 	パッキン…… 1枚 
取付ネジ…… 4本 	コードクリップB …… 1個 
	コードクリップC …… 大1個 小2個 

仕様

形名	PZ-50KU2	
電源	単相 AC100V・200V 50/60Hz	
接続方法	端子台接続	
間欠運転仕様	①60分運転10分停止 ②30分運転30分停止 (①、②選択可能)	
運転内容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。 給気温度がさらに低下すると、給気を停止 (5分運転55分停止) する。	
間欠運転温度	A. 0℃ B. -10℃ (A、B選択可能)	
給気停止温度	A. -10℃ B. -15℃ (A、Bは間欠運転温度に各々連動)	
感熱部	給気温度検知用サーミスタ (間欠運転用)	
質量	0.4kg	

※適用機種および複数台運転可能台数

納入仕様書で確認してください。

決められた台数以上を接続すると、リレー接点容量が過負荷となり、故障の原因となります。

※100V、200Vの設定は、PZ-50KU2本体内部の電圧切換コネクタを切り換えることにより行ってください。誤って設定した場合は、回路が破損するおそれがあります。

※取付工事マニュアルは、中津川製作所(下記)もしくは支社へご請求ください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱業務用ロスナイ用システム部材 寒冷地運転用回路

形名

PZ-50KU₂

対象機種名

天吊埋込形 LGH-15~100RS₄, RS₄D

天吊カセット形 LGH-15~50CS₄, CS₄D

取付工事マニュアル 販売店・工事店さま用

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること	2
特長	2
各部のなまえと外形寸法図	3
仕様	3
間欠運転開始温度の設定	4
取付方法（天吊埋込形）	5~6
取付方法（天吊カセット形）	7~8
試運転	8
結線図	9


この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事マニュアルを必ずお読みください。


- 取付工事は販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。





取付工事が終わりましたらこの取付工事マニュアルは、お客さまに必ずお渡しください。




安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
---	----------------------------------

 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------

 警告	
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室などの湿気の多いところには、取付けない 感電や漏電の原因となります
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量を使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
	配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に 行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
	漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
	指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

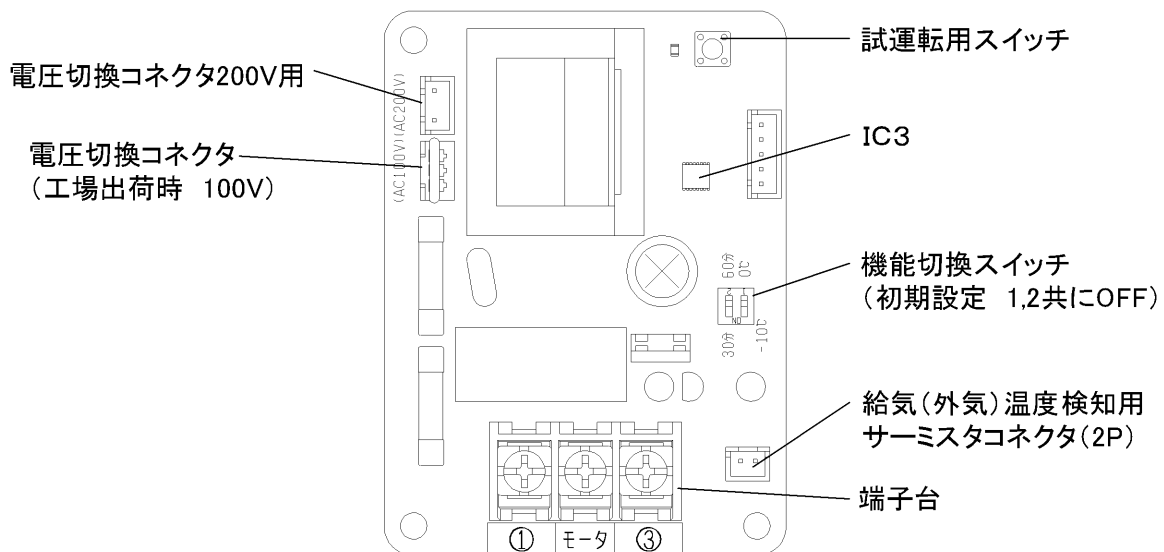
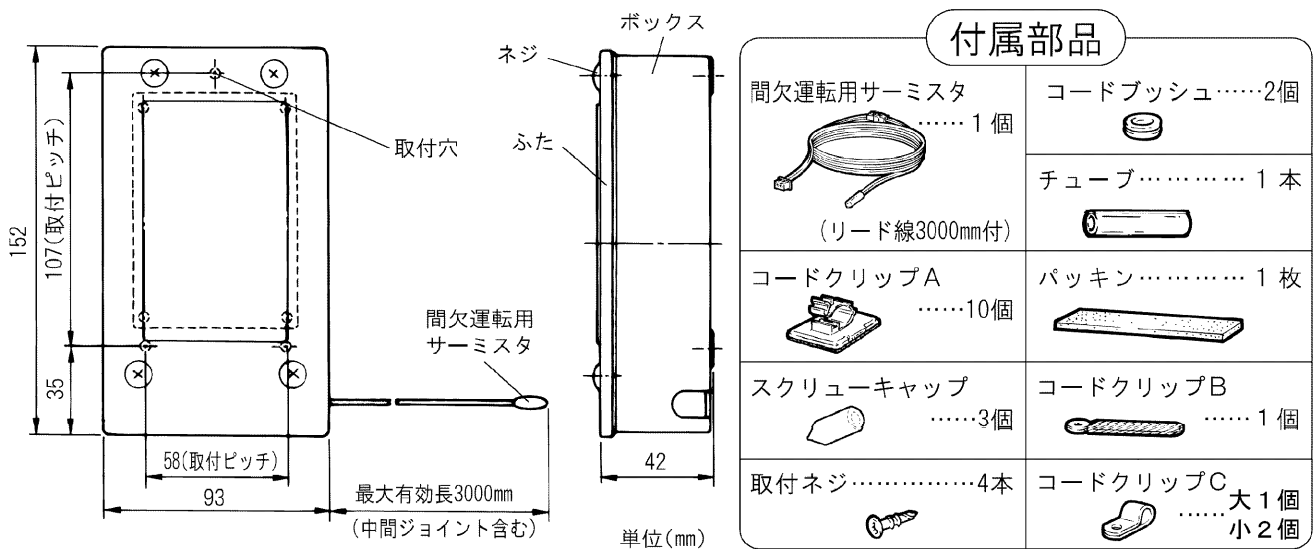
 注意	
 禁止	直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります
 指示に従い必ず行う	取付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります
	取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
	ネジは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります

特長

業務用ロスナイにこの寒冷地運転用回路を取り付けることで、給気送風機の間欠運転を行い、給気空気条件-15℃まで使用可能となります。

また、学校用ロスナイにも使用可能です。

各部のなまえと外形寸法図



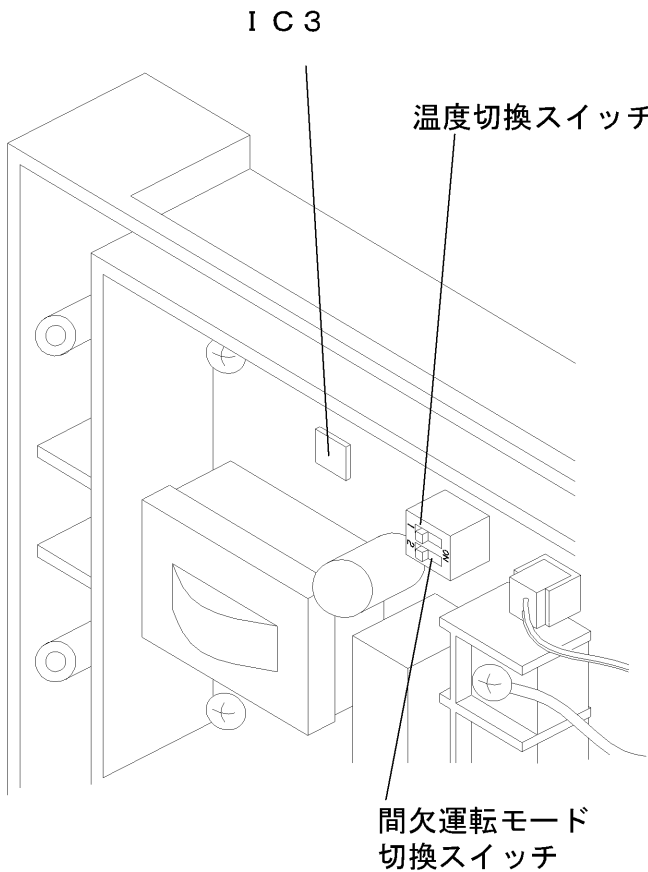
仕様

形名	PZ-50KU ₂	
電源	単相 AC100V・200V* 50/60Hz	
接続方法	端子台接続	
間欠運転仕様	①60分運転10分停止 ②30分運転30分停止 (①、②選択可能)	
運転内容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。給気温度がさらに低下すると、給気を停止(5分運転5分停止)する。	
間欠運転温度	A. 0℃	B. -10℃ (A、B選択可能)
給気停止温度	A. -10℃	B. -15℃ (A、Bは間欠運転温度に各々連動)
感熱部	給気温度検知用サーミスタ(間欠運転用)	
質量	0.4kg	

※電源仕様の設定

100V、200Vの設定は、PZ-50KU₂本体内部の電圧切換コネクタを切り換えることによりおこなってください(出荷時は100V仕様です)。誤って設定した場合は、回路が破損する恐れがあります。

間欠運転機能の設定



1. 寒冷地運転用回路ボックスのふたを締め付けているネジ(4本)を外します。
2. 温度切換スイッチ(1)をON側にスライドさせ、間欠運転開始温度を -10°C にします。
3. 間欠運転モード切換スイッチ(2)がOFF(60分運転、10分停止)であることを確認します。

お願い

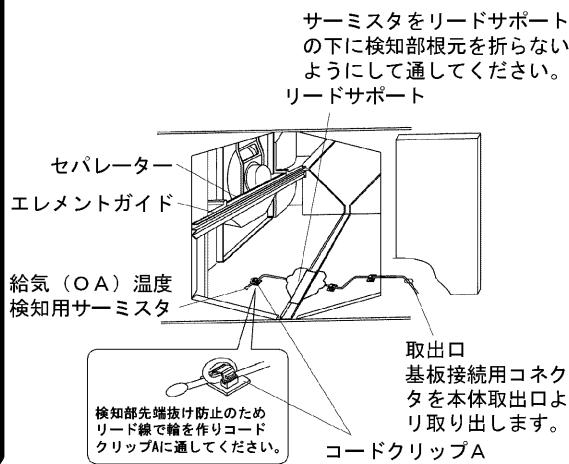
スイッチを切替える際にI C 3に触れないようご注意ください。

(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

取付方法

天吊埋込形 (LGH-RS4, RS4Dタイプ)

1



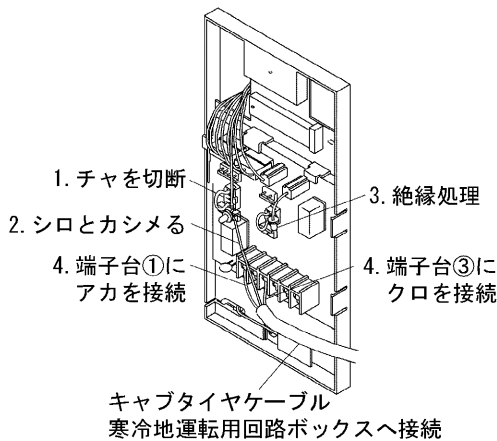
給気(OA)温度検知用サーミスタの取付方法

1. メンテナンスカバーを外して、ロスナイエレメントおよびエアフィルタを取り出します。
2. 図の位置に付属の給気(OA)温度検知用サーミスタを付属のコードクリップAにて固定し配線します。
3. 配線終了後ロスナイエレメントおよびエアフィルタをロスナイ内部へ戻しエレメントカバーを元通り取り付けます。

メモ

配線作業が行いにくい場合は、エレメントガイドおよびセパレーターを取り外して作業を行ってください。

2

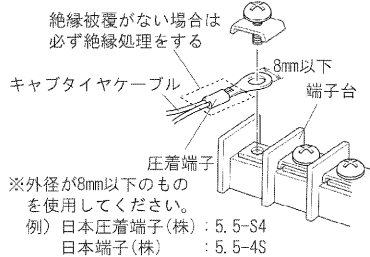


ロスナイ本体側結線工事方法

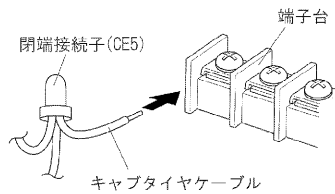
コントロールボックスカバーをあけ、図を参照しロスナイ本体側の電気工事を行ってください。

1. 給気用電動機共通線(チャ)を切断する。
2. 1で切断したリード線の中継コネクタ側をキャブタイヤケーブルのシロと市販の絶縁被服付圧着端子等で接続し、絶縁処理します。
3. もう一方の回路側は市販の絶縁被服付圧着端子等でカシメて確実に絶縁処理を行います。
4. キャブタイヤケーブルの残り2本を端子台の①にアカ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。

圧着端子 接続例



閉端接続子 接続例



ご注意

- キャブタイヤケーブル等を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続してください。使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります。

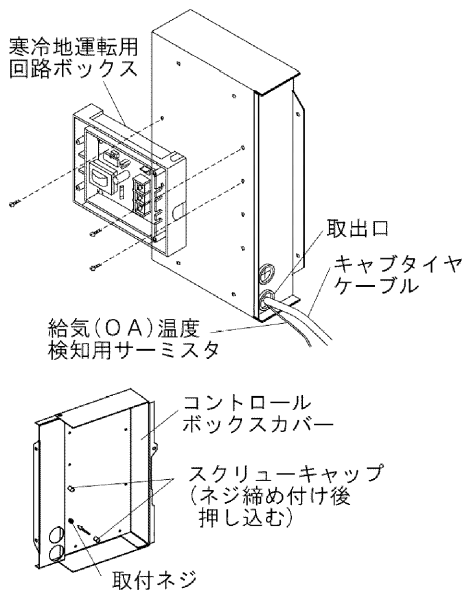
メモ

圧着端子およびキャブタイヤケーブル (VCT 3芯1.25mm²) はお客さま手配となります。(約1m)

取付方法 つづき

天吊埋込形 (LGH-RS4, RS4Dタイプ)

3



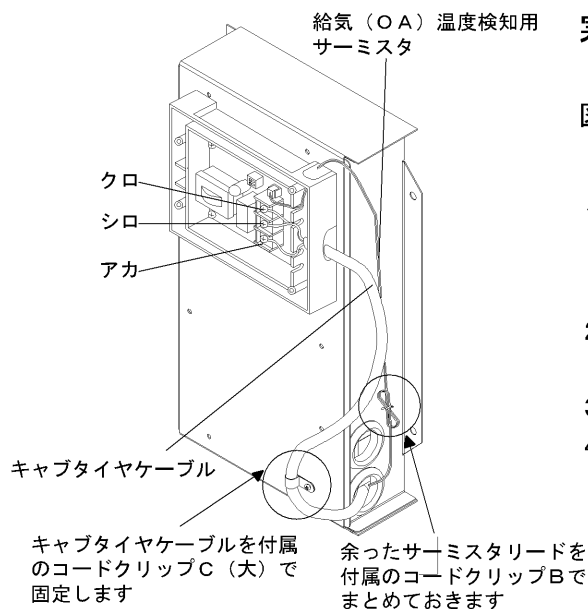
寒冷地運転用回路ボックスの取り付け

1. キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをコントロールボックスカバーの取出口より取り出してください。
2. 寒冷地運転用回路ボックスをコントロールボックスカバーへ付属のねじ3本で取り付けます。
3. ねじ3本を取り付け後、コントロールボックスカバー内側のねじ突出部に、付属のスクリーキャップを必ず取り付けます。
4. コントロールボックスカバーを元通り閉じます。

ご注意

- コントロールボックスカバーを取り付ける際、キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをかみこまないようご注意ください。

4



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

図のように回路ボックス側への電気工事を行ってください。

1. **2**で接続したキャブタイヤケーブルを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、**モータ**にシロ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。
2. **1**で配線した給気(OA)温度検知用サーミスタを基板上コネクタCN1(2P)へ差し込みます。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。
4. 図の位置に付属のコードクリップBおよびコードクリップC(大)を取り付けます。

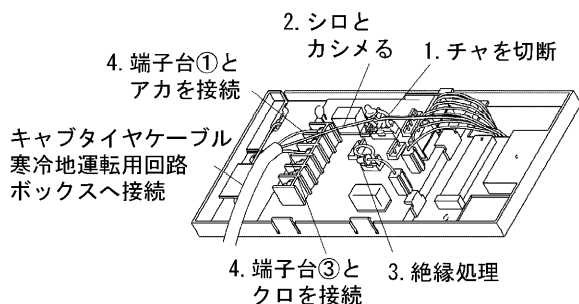
取付方法 つづき

天吊カセット形 (LGH-CS4, CS4Dタイプ)

1

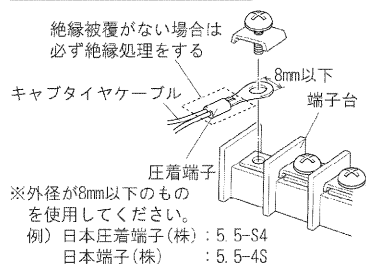
ロスナイ本体側結線工事方法

コントロールボックスカバーをあげ、図を参照しロスナイ本体側の電気工事を行ってください。

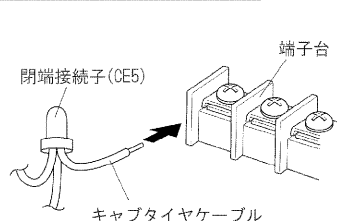


1. 給気用電動機共通線(チャ)を切断します。
2. 1で切断したリード線の中継コネクタ側をキャブタイヤケーブルのシロと市販の絶縁被服付圧着端子等で接続し、絶縁処理してください。
3. もう一方の回路側は市販の絶縁被服付圧着端子等でカシメて確実に絶縁処理を行ってください。
4. キャブタイヤケーブルの残り2本を端子台の①にアカ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。

圧着端子 接続例



閉端接続子 接続例



ご注意

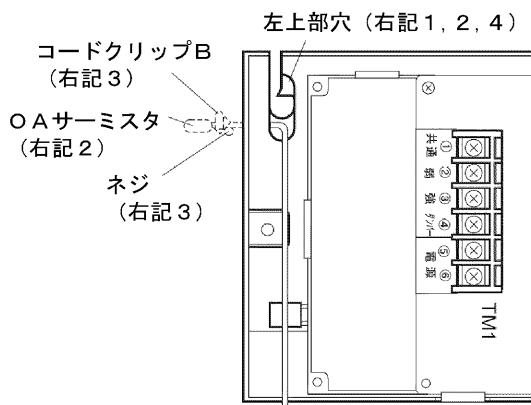
- キャブタイヤケーブル等を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続してください。使用しないと漏電・火災などの原因となることがあります。

メモ

圧着端子およびキャブタイヤケーブル (VCT 3芯1. 25mm²) はお客さま手配となります。(約1m)

2

給気(OA)温度検知用サーミスタの取付方法

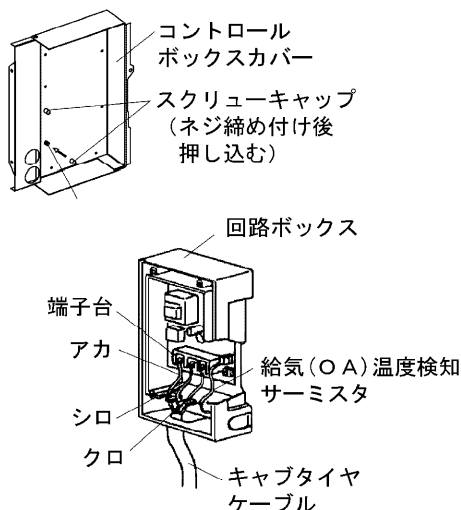


1. 左図の左上部穴が断熱材でふさがれているので断熱材をはがします。はがした断熱材は給気(OA)温度検知用サーミスタ挿入後、穴ふさぎのため使用しません。
2. 付属の給気(OA)検知用サーミスタを左図のように左上部穴より差し込みます。
3. 付属のねじで、付属のコードクリップBを穴に取り付けます。図のように、付属のコードクリップBでサーミスタを固定し、配線します。
(あらかじめねじが付いている場合、ねじを外してコードクリップBを取り付けます。)
4. 断熱材で左上部穴をふさぎます。

取付方法 つづき

天吊カセット形 (LGH-CS4, CS4Dタイプ)

3

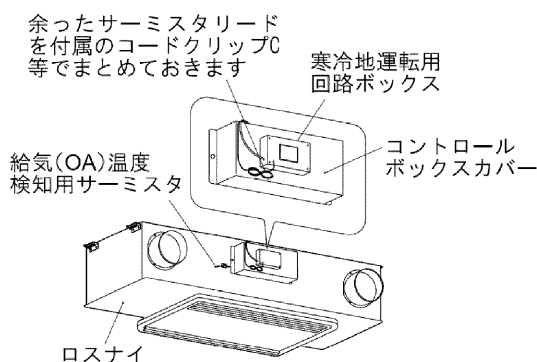


寒冷地運転用回路ボックスの取り付け

図のように回路ボックス側への電気工事を行ってください。

1. キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをコントロールボックスカバーの取出口より取り出ししてください。
2. 寒冷地運転用回路ボックスをコントロールボックスカバーへ付属のねじ3本で取り付けます。
3. ねじ3本を取り付け後、コントロールボックスカバーのねじ突出部に、付属のスクリューキャップを必ず取り付けます。
4. コントロールボックスカバーを元通り閉じます。

4



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

1. ①で接続したキャブタイヤケーブルを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、モータにシロ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。
2. ②で配線した給気(OA)温度検知用サーミスタを基板上コネクタCN1(2P)に差し込みます。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。
4. 付属のコードクリップC等を取り付けます。

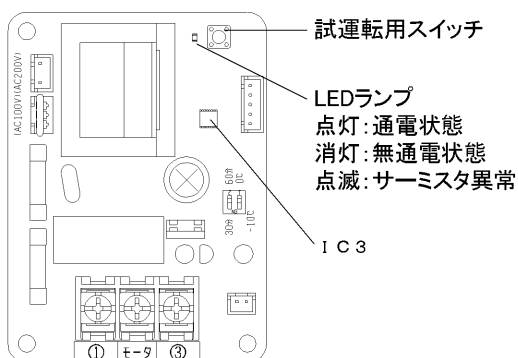
ご注意

- コントロールボックスカバーを取り付ける際、キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをかみこまないようご注意ください。

試運転

ロスナイ本体の取付工事および電気工事が終わりましたら、天井を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行ってください。

- 寒冷地運転用回路ボックスの試運転を行う前に、必ずロスナイ本体の試運転を本体の据付要領説明書に従って行ってください。
- ロスナイ本体を運転させながら次の確認を行ってください。



1. ねじ(4本)を外し寒冷地運転回路ボックスのふたを取り外します。
2. 基板上の試運転用スイッチを押します。
●押し続けた状態で給気用送風機が停止するか確認します。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。

■給気用送風機が停止しない場合

給気用送風機が停止しないときは誤結線です。
電源を切り、結線図を見て正しく結線し直してください。

お願い

試運転スイッチを押す際にI C 3に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

8

結線図

※太線および破線部分を結線してください。

LGH-15RS₄(D)・25RS₄(D)・LGH-15CS₄(D)・25CS₄(D)の場合

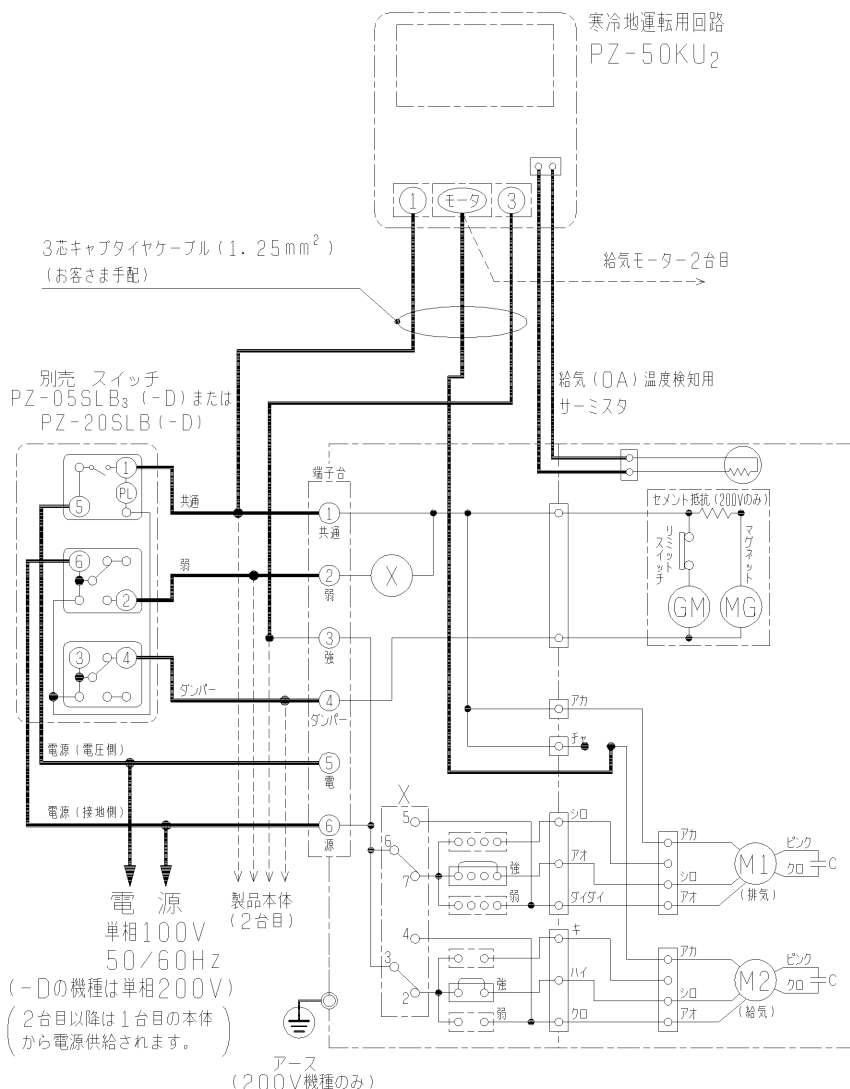
※複数台運転の場合、製品2台目以降の電源は製品1台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品(市販)にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

※200Vでご使用の場合は、寒冷地運転用回路基板内の電圧切換コネクタを200V用に切り換えてください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-15RS ₄ (D)	9	0. 1 1
LGH-25RS ₄ (D)	7	0. 1 4
LGH-15CS ₄ (D)	10	0. 1
LGH-25CS ₄ (D)	7	0. 1 4

※ 組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が
1. 0以下まで複数台運転可能です。



LGH-35RS₄(D)・50RS₄(D)・LGH-35CS₄(D)・50CS₄(D)の場合

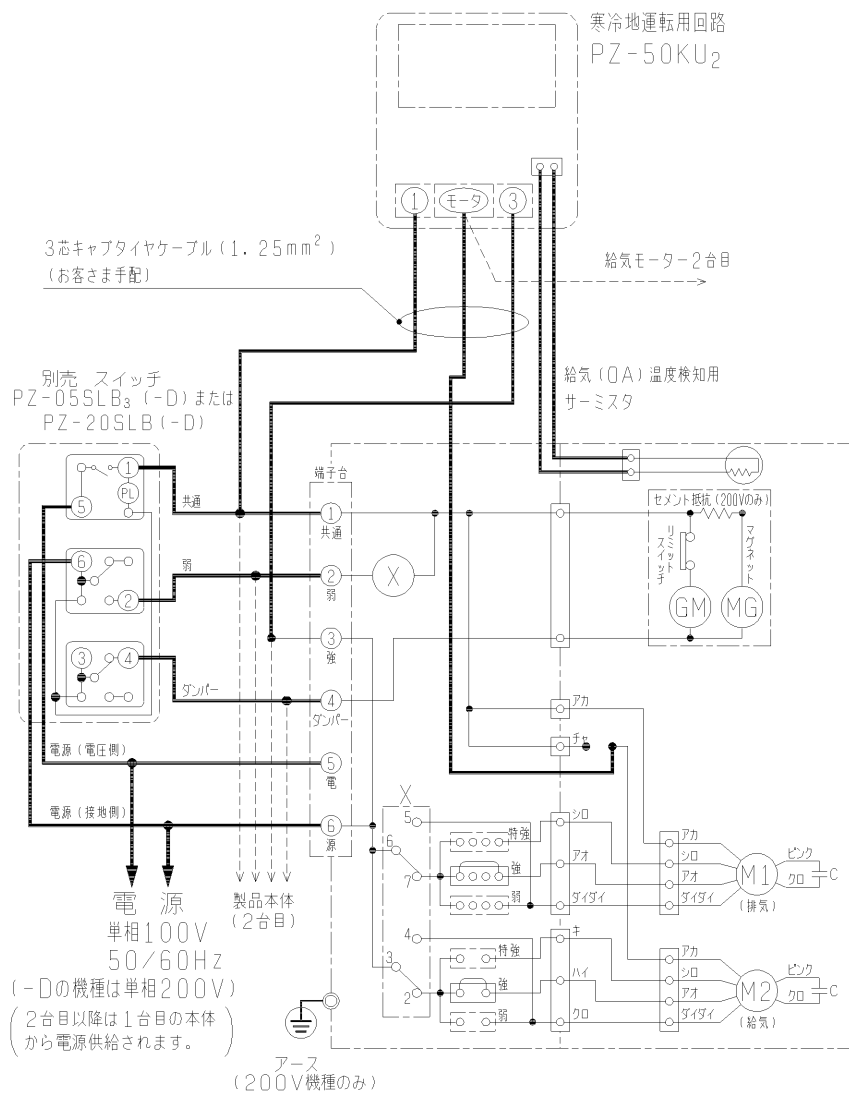
※複数台運転の場合、製品2台目以降の電源は製品1台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

※200Vでご使用の場合は、寒冷地運転用回路基板内の電圧切換コネクタを200V用に切り換えてください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-35RS ₄ (D)	4	0.25
LGH-50RS ₄ (D)	3	0.33
LGH-35CS ₄ (D)	5	0.2
LGH-50CS ₄ (D)	4	0.25

※ 組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が1.0以下まで複数台運転可能です。



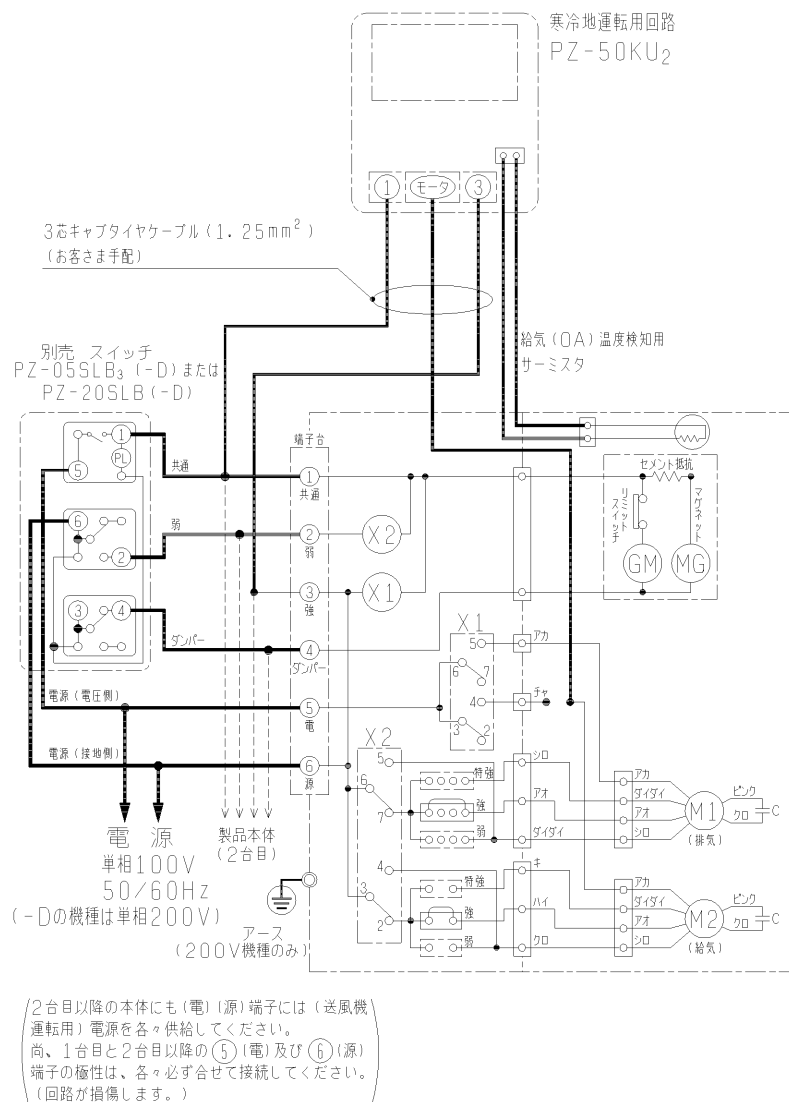
LGH-65RS₄(D)・80RS₄(D)・100RS₄(D)の場合

※別売スイッチにてロスナイを複数台運転している場合は、すべてのロスナイに寒冷地運転用回路（PZ-50KU₂）を取り付けてください。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

※200Vでご使用の場合は、寒冷地運転用回路基板内の電圧切換コネクタを200V用に切り換えてください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-65RS ₄ (D)	1	1. 0
LGH-80RS ₄ (D)	1	1. 0
LGH-100RS ₄ (D)	1	1. 0



三菱業務用ロスナイ用システム部材 寒冷地運転用回路

形名

PZ-50KU₂

対象機種名

天吊埋込形加湿付 LGH-15~100RKS₃, RKS₃D
取付工事マニュアル 販売店・工事店さま用

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	2
特長	2
各部のなまえと外形寸法図	3
仕様	3
間欠運転開始温度の設定	4
取付方法	5~6
試運転	7~8
結線図	9


この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事マニュアルを必ずお読みください。


■ 取付工事は販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。





取付工事が終わりましたらこの取付工事マニュアルは、お客さまに必ずお渡しください。




安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
---	----------------------------------

 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------

 警告	
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室などの湿気の多いところには、取付けない 感電や漏電の原因となります
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量を使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
	配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
	漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
	指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

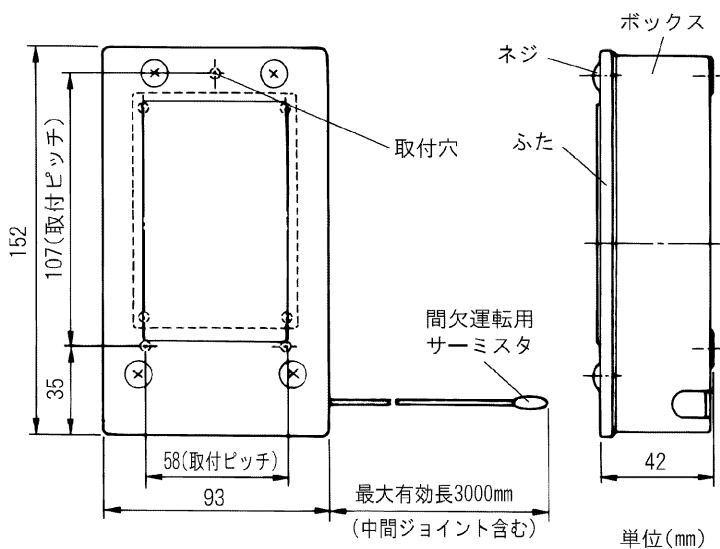
 注意	
 禁止	直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります
 指示に従い必ず行う	取付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります
	取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
	ネジは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります

特長

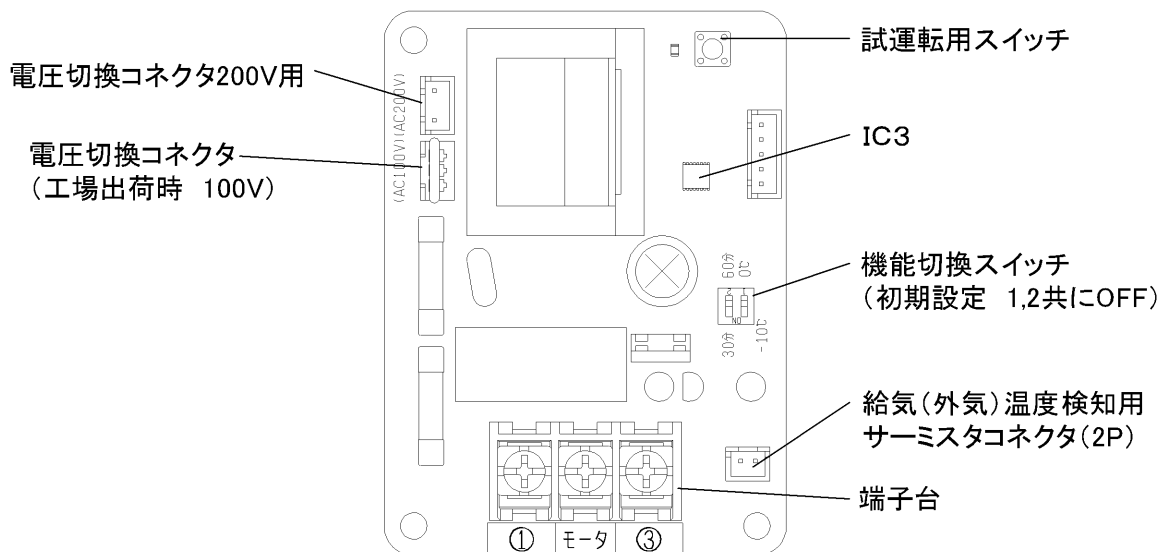
業務用ロスナイにこの寒冷地運転用回路を取り付けることで、給気送風機の間欠運転を行い、給気空気条件-15℃まで使用可能となります。

また、学校用ロスナイにも使用可能です。

各部のなまえと外形寸法図



付属部品	
間欠運転用サーミスタ ……………1個 (リード線3000mm付)	コードブッシュ……………2個 チューブ……………1本
コードクリップA ……………10個 	パッキン……………1枚
スクリーキャップ ……………3個 	コードクリップB ……………1個
取付ネジ……………4本 	コードクリップC ……………大1個 ……………小2個



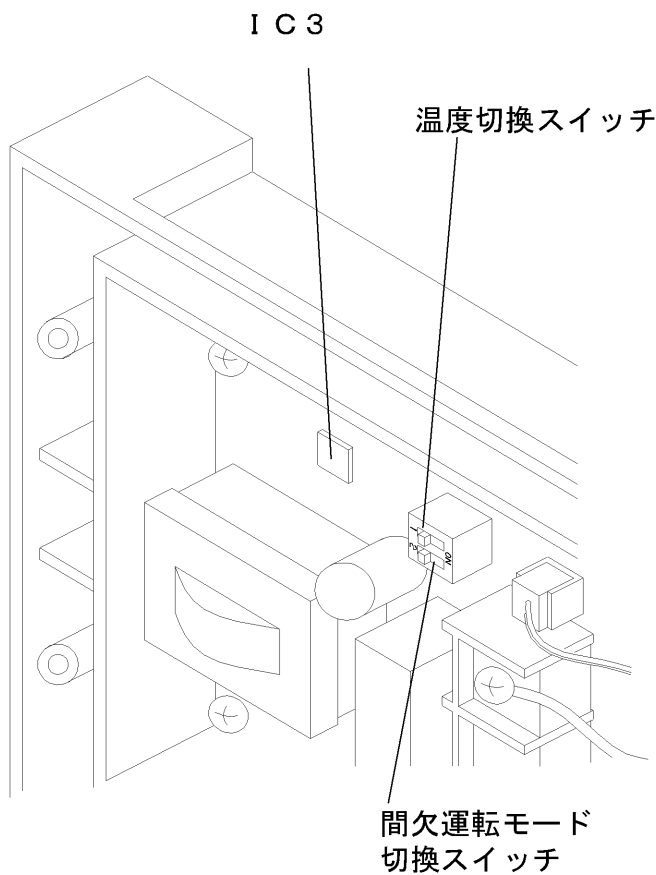
仕様

形名	PZ-50KU ₂	
電源	単相 AC100V・200V* 50/60Hz	
接続方法	端子台接続	
間欠運転仕様	①60分運転10分停止 ②30分運転30分停止 (①、②選択可能)	
運転内容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。給気温度がさらに低下すると、給気を停止(5分運転5分停止)する。	
間欠運転温度	A. 0℃	B. -10℃ (A、B選択可能)
給気停止温度	A. -10℃	B. -15℃ (A、Bは間欠運転温度に各々連動)
感熱部	給気温度検知用サーミスタ(間欠運転用)	
質量	0.4kg	

※電源仕様の設定

100V、200Vの設定は、PZ-50KU₂本体内部の電圧切換コネクタを切り換えることによりおこなってください(出荷時は100V仕様です)。誤って設定した場合は、回路が破損する恐れがあります。

間欠運転機能の設定



1. 寒冷地運転用回路ボックスのふたを締め付けているネジ(4本)を外します。
2. 温度切換スイッチ(1)をON側にスライドさせ、間欠運転開始温度を -10°C にします。
3. 間欠運転モード切換スイッチ(2)がOFF(60分運転、10分停止)であることを確認します。

お願い

スイッチを切替える際にI C 3に触れないようご注意ください。

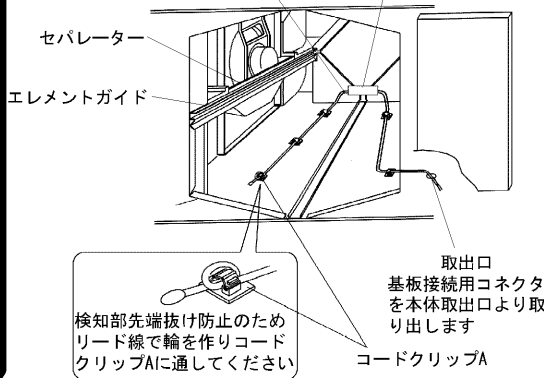
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

取付方法

天吊埋込形加湿付

1

リード線がスチロール部分に接する箇所に必ず付属のチューブをかぶせてください。
 貼付しているパッキンをはがして配線し、付属のパッキンを貼付けてください。



給気 (OA) 温度検知用サーミスタの取付方法

1. メンテナンスカバーを外して、ロスナイエレメントおよびエアフィルタを取り出します。
2. 図の位置に付属の給気(OA)温度検知用サーミスタを付属のコードクリップAにて固定し配線します。
3. 配線終了後ロスナイエレメントおよびエアフィルタをロスナイ内部へ戻しエレメントカバーを元通り取り付けます。

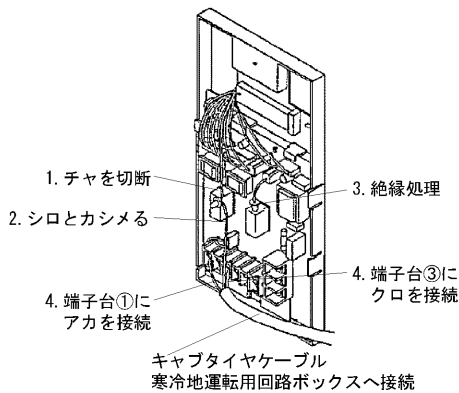
メモ

配線作業が行いにくい場合は、エレメントガイドおよびセパレーターを取り外して作業を行ってください。

2

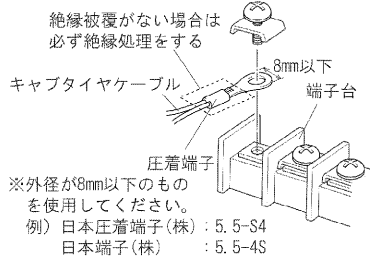
ロスナイ本体側結線工事方法

コントロールボックスカバーをあげ、図を参照しロスナイ本体側の電気工事を行ってください。

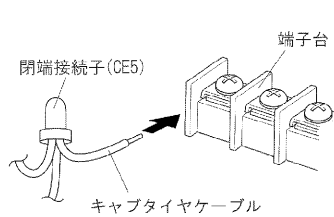


1. 給気用電動機共通線(チヤ)を切断する。
2. 1で切断したリード線の中継コネクタ側をキャブタイヤケーブルのシロと市販の絶縁被服付圧着端子等で接続し、絶縁処理します。
3. もう一方の回路側は市販の絶縁被服付圧着端子等でカシメて確実に絶縁処理を行います。
4. キャブタイヤケーブルの残り2本を端子台の①にアカ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。

圧着端子 接続例



閉端接続子 接続例



ご注意

- キャブタイヤケーブル等を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続してください。使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります。

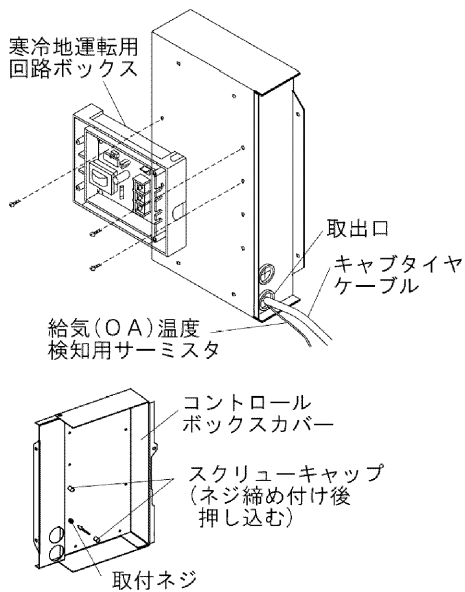
メモ

圧着端子およびキャブタイヤケーブル (VCT 3芯1.25mm²) はお客さま手配となります。(約1m)

取付方法 つづき

天吊埋込形加湿付

3



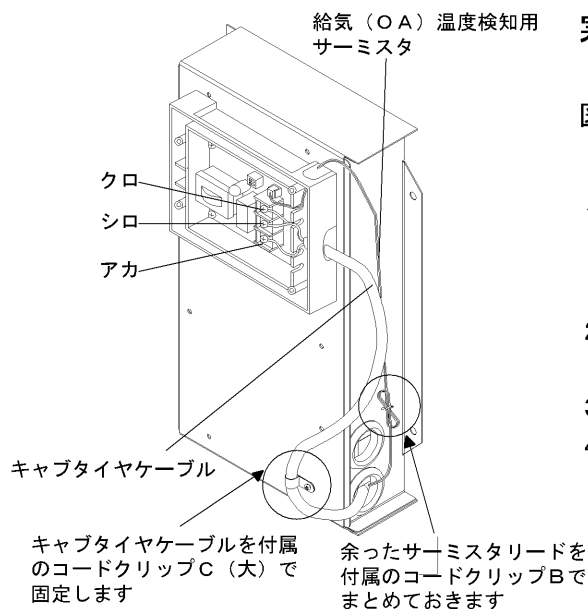
寒冷地運転用回路ボックスの取り付け

1. キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをコントロールボックスカバーの取出口より取り出してください。
2. 寒冷地運転用回路ボックスをコントロールボックスカバーへ付属のねじ3本で取り付けます。
3. ねじ3本を取り付け後、コントロールボックスカバー内側のねじ突出部に、付属のスクリューキャップを必ず取り付けます。
4. コントロールボックスカバーを元通り閉じます。

ご注意

- コントロールボックスカバーを取り付ける際、キャブタイヤケーブルおよび給気(OA)温度検知用サーミスタをかみこまないようご注意ください。

4



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

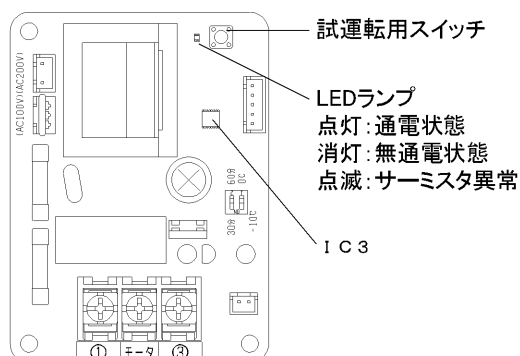
図のように回路ボックス側への電気工事を行ってください。

1. **2**で接続したキャブタイヤケーブルを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、**モータ**にシロ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。
2. **1**で配線した給気(OA)温度検知用サーミスタを基板上コネクタCN1(2P)へ差し込みます。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。
4. 図の位置に付属のコードクリップBおよびコードクリップC(大)を取り付けます。

試運転

ロスナイ本体の取付工事および電気工事が終わりましたら、天井を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行ってください。

- 寒冷地運転用回路ボックスの試運転を行う前に、必ずロスナイ本体の試運転を本体の据付要領説明書に従って行ってください。
- ロスナイ本体を運転させながら次の確認を行ってください。



1. ねじ(4本)を外し寒冷地運転回路ボックスのふたを取り外します。
2. 基板上的試運転用スイッチを押します。
 - 押し続けた状態で給気用送風機が停止するか確認します。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。

■給気用送風機が停止しない場合

給気用送風機が停止しないときは誤結線です。
電源を切り、結線図を見て正しく結線し直してください。

お願い

試運転スイッチを押す際にIC3に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

結線図

※太線および破線部分を結線してください。

LGH-15~50RKS₃(D) の場合

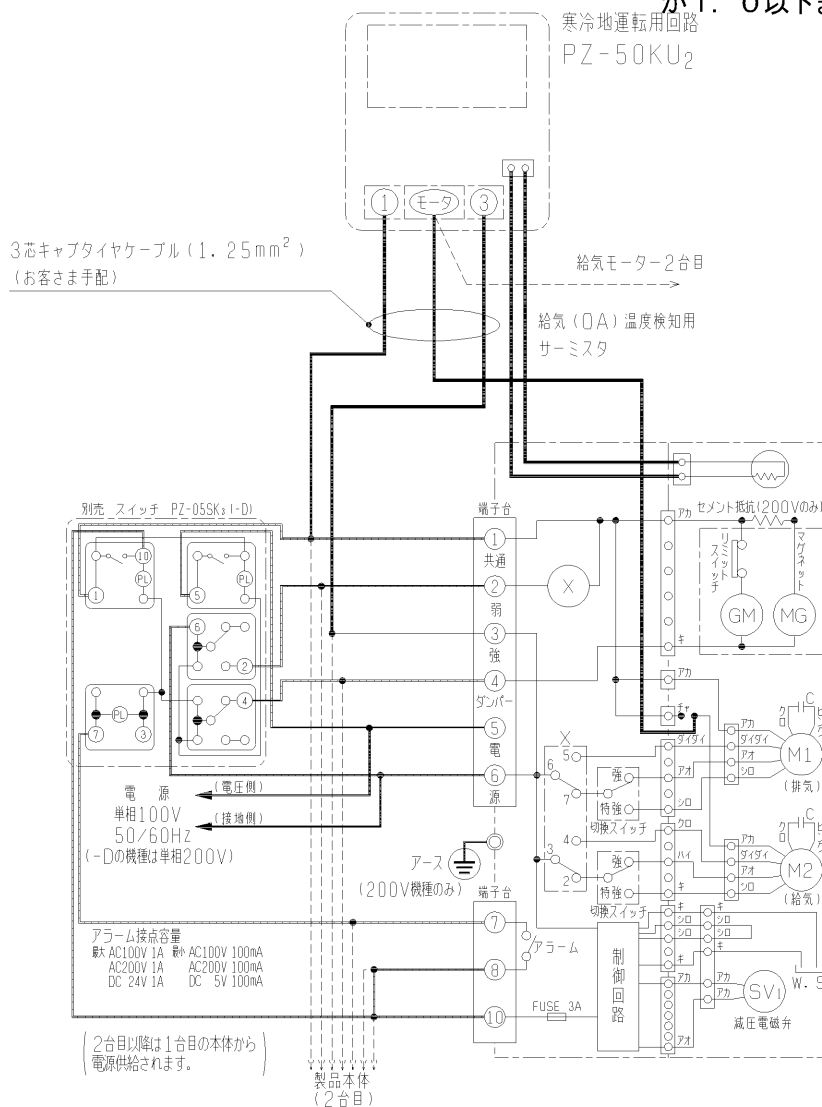
※複数台運転の場合、製品 2 台目以降の電源は製品 1 台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806 の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

※200Vでご使用の場合は、寒冷地運転用回路基板内の電圧切換コネクタを200V用に切り換えてください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-15RKS ₃ (D)	8	0. 1 3
LGH-25RKS ₃ (D)	6	0. 1 7
LGH-35RKS ₃ (D)	4	0. 2 5
LGH-50RKS ₃ (D)	3	0. 3 3

※ 組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が1. 0以下まで複数台運転可能です。



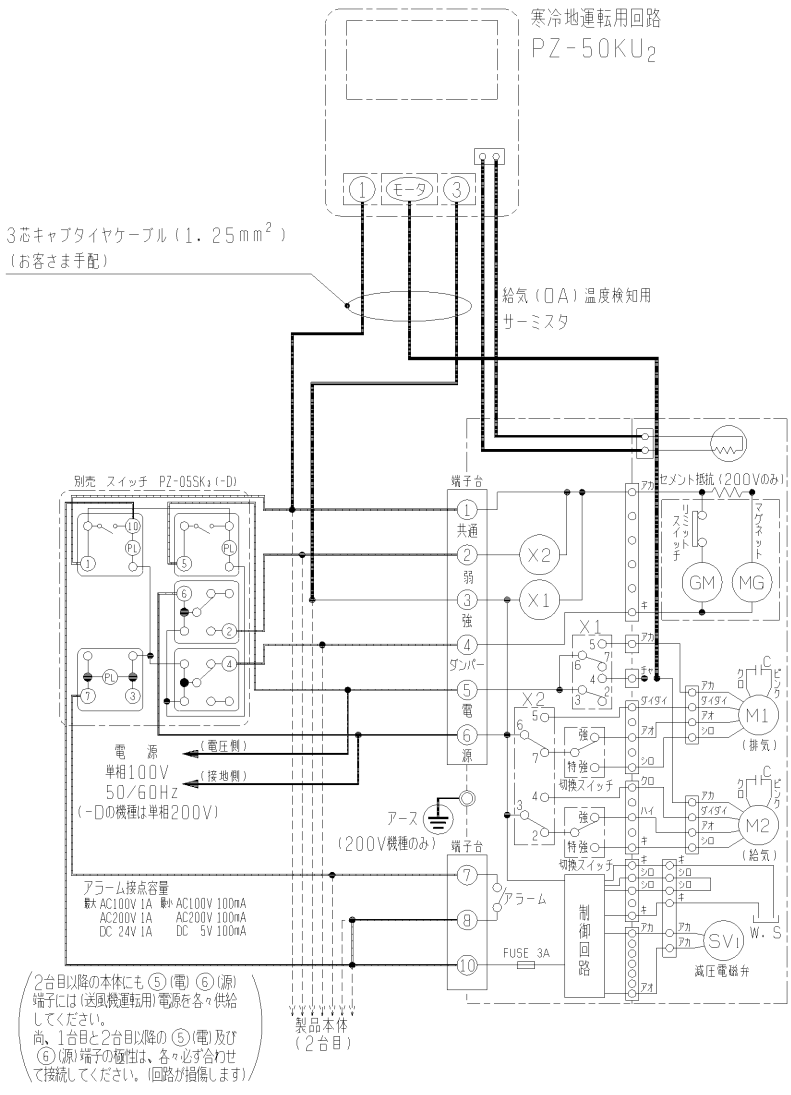
LGH-65~100RKS₃(D) の場合

※別売スイッチにてロスナイを複数台運転している場合は、すべてのロスナイに寒冷地運転用回路（PZ-50KU₂）を取り付けてください。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806 の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

※200Vでご使用の場合は、寒冷地運転用回路基板内の電圧切換コネクタを200V用に切り換えてください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-65RKS ₃ (D)	1	1. 0
LGH-80RKS ₃ (D)	1	1. 0
LGH-100RKS ₃ (D)	1	1. 0



三菱業務用ロスナイ用システム部材 寒冷地運転用回路

形名

PZ-50KU₂

対象機種名

耐湿形全熱交換タイプ

LGH-15~100RHW₃

耐湿形顕熱交換タイプ

LGH-50, 100RHP₃

取付工事マニュアル

販売店・工事店さま用

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること	2
特長	2
各部のなまえと外形寸法図	3
仕様	3
間欠運転開始温度の設定	4
取付方法	5
試運転	6
結線図	7~8


この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事マニュアルを必ずお読みください。


- 取付工事は販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。





取付工事が終わりましたらこの取付工事マニュアルは、お客さまに必ずお渡しください。




安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
---	----------------------------------

 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------

 警告	
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室などの湿気の多いところには、取付けない 感電や漏電の原因となります
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量を使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
	配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
	漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
	指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

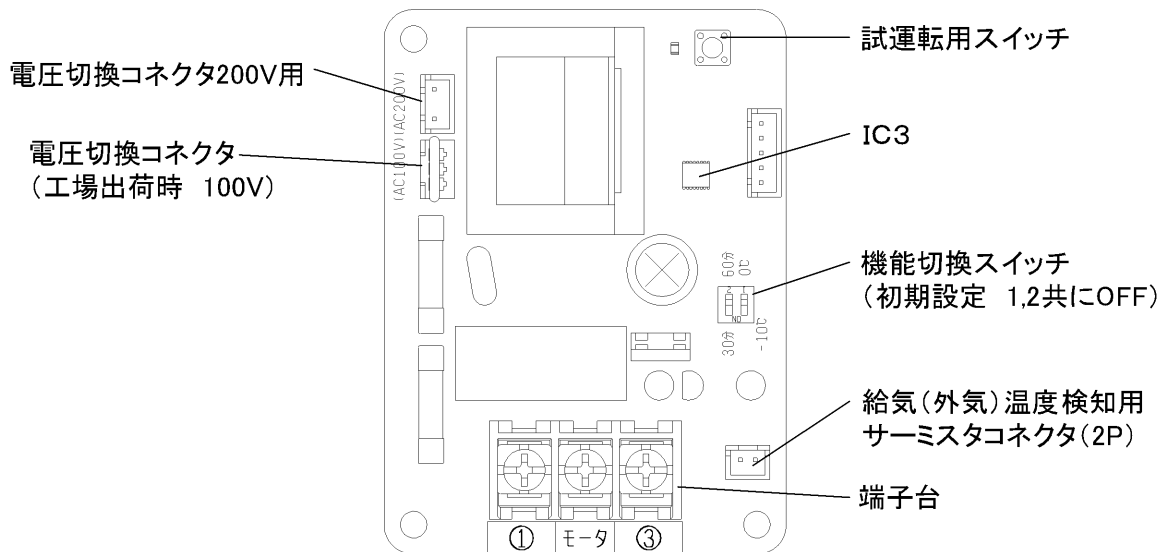
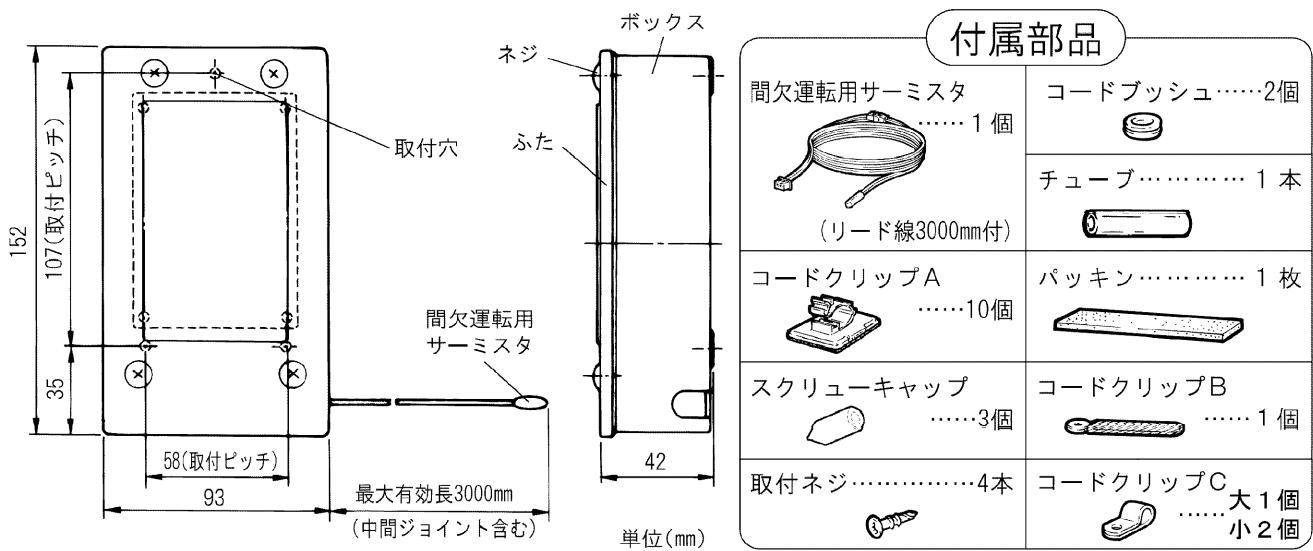
 注意	
 禁止	直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります
 指示に従い必ず行う	取付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります
	取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
	ネジは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります

特長

業務用ロスナイにこの寒冷地運転用回路を取り付けることで、給気送風機の間欠運転を行い、給気空気条件-15℃まで使用可能となります。

また、学校用ロスナイにも使用可能です。

各部のなまえと外形寸法図



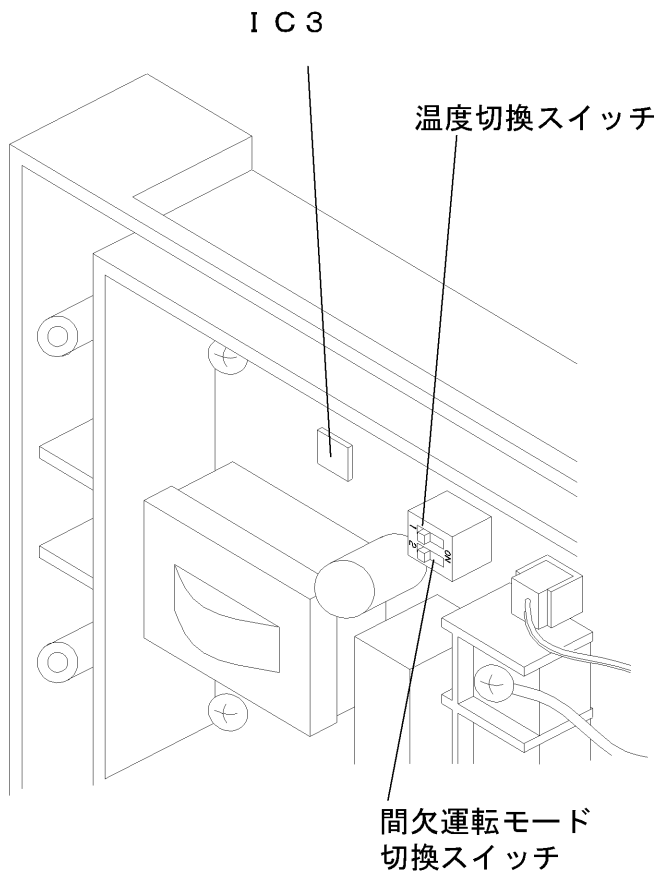
仕様

形名	PZ-50KU ₂	
電源	単相 AC100V・200V※ 50/60Hz	
接続方法	端子台接続	
間欠運転仕様	①60分運転10分停止 ②30分運転30分停止 (①、②選択可能)	
運転内容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。 給気温度がさらに低下すると、給気を停止(5分運転5分停止)する。	
間欠運転温度	A. 0℃	B. -10℃ (A、B選択可能)
給気停止温度	A. -10℃	B. -15℃ (A、Bは間欠運転温度に各々連動)
感熱部	給気温度検知用サーミスタ(間欠運転用)	
質量	0.4kg	

※電源仕様の設定

100V、200Vの設定は、PZ-50KU₂本体内部の電圧切換コネクタを切り換えることによりおこなってください(出荷時は100V仕様です)。誤って設定した場合は、回路が破損する恐れがあります。

間欠運転機能の設定



1. 寒冷地運転用回路ボックスのふたを締め付けているネジ(4本)を外します。
2. 温度切換スイッチ(1)がOFF(-0℃)であることを確認します。
3. 間欠運転モード切換スイッチ(2)がOFF(60分運転、10分停止)であることを確認します。

お願い

スイッチを切換える際にIC3に触れないようご注意ください。

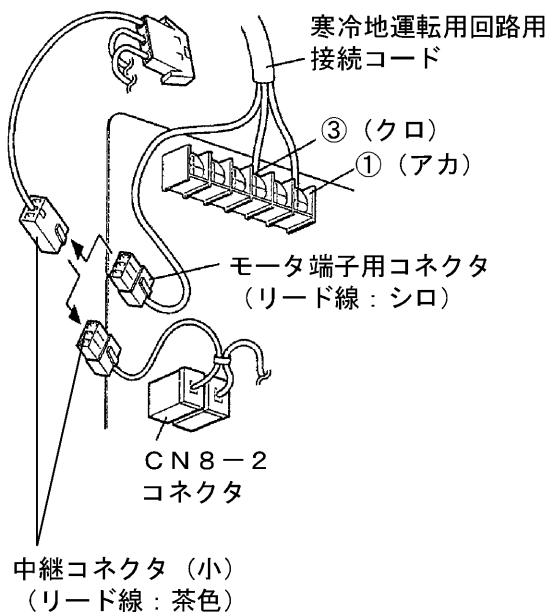
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

取付方法

耐湿形

- 業務用ロスナイ耐湿形には、寒冷地運転用回路用接続コードが付属されています。また、給気（OA）温度検知用サーミスタは製品にあらかじめ配線されています。

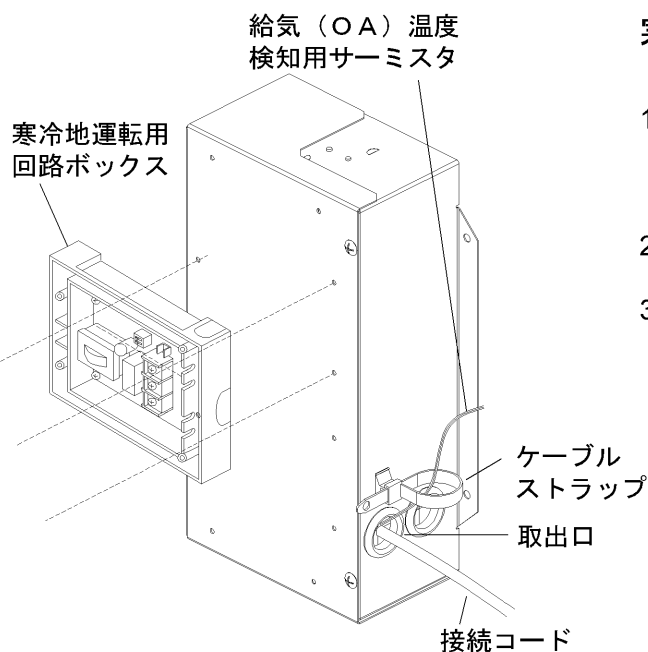
1



寒冷地運転用回路用接続コードの接続

1. 寒冷地運転用回路用接続コードの①（アカ）とロスナイ本体の端子台①を、接続コードの③（クロ）とロスナイ本体の端子台③をそれぞれ結線します。
2. ロスナイ本体のコネクタCN8-2に接続されている中継コネクタ（小）をはずします。
3. はずしたコネクタと寒冷地運転用回路用接続コードのモータ端子用コネクタを接続します。

2



寒冷地運転用回路ボックスの取り付け

1. 接続コードおよび給気（OA）温度検知用サーミスタをコントロールボックスカバーの取出口より取り出してください。（給気温度検知用サーミスタはケーブルストラップへ通してください。）
2. 寒冷地運転用回路ボックスをコントロールボックスカバーへ付属のねじ3本で取り付けます。
3. コントロールボックスカバーを元通り閉じます。

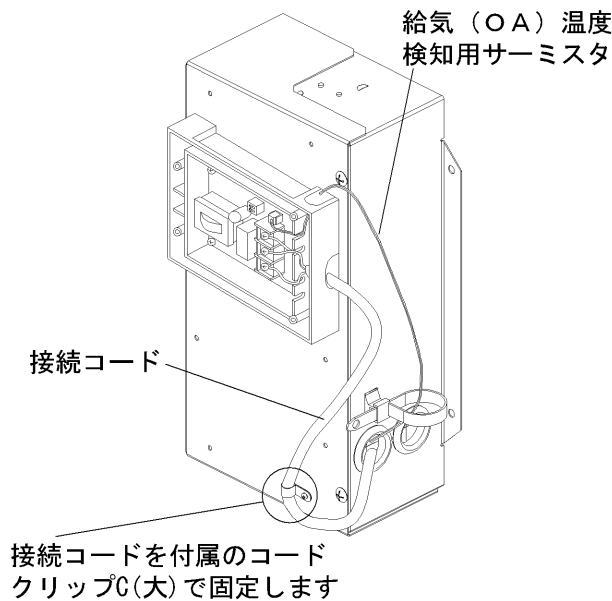
ご注意

- コントロールボックスカバーを取り付ける際、接続コードおよび給気（OA）温度検知用サーミスタをかみこまないようご注意ください。

取付方法 つづき

耐湿形

3



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

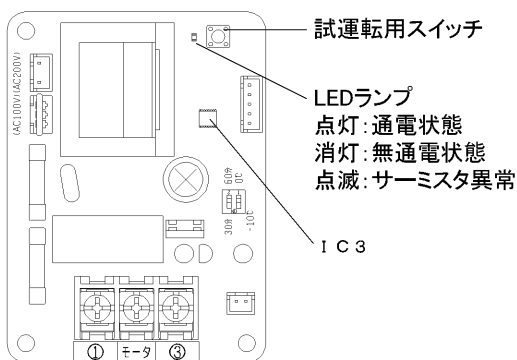
図のように回路ボックス側への電気工事を行ってください。

1. **1** で接続した接続コードを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、**モータ** にシロ、③にクロを接続します。
2. 給気 (OA) 温度検知用サーミスタを基板上コネクタCN1 (2P) へ差し込みます。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。
4. 図の位置に付属のコードクリップC (大) を取り付けます。

試運転

ロスナイ本体の取付工事および電気工事が終わりましたら、天井を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行ってください。

- 寒冷地運転用回路ボックスの試運転を行う前に、必ずロスナイ本体の試運転を本体の取付工事説明書に従って行ってください。
- ロスナイ本体を運転させながら次の確認を行ってください。



1. ねじ (4本) を外し寒冷地運転回路ボックスのふたを取り外します。
2. 基板上の試運転用スイッチを押します。
 - 押し続けた状態で給気用送風機が停止するか確認します。
3. 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。

■給気用送風機が停止しない場合
給気用送風機が停止しないときは誤結線です。
電源を切り、結線図を見て正しく結線し直してください。

お願い

試運転スイッチを押す際にIC3に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

結線図

※太線および破線部分を結線してください。

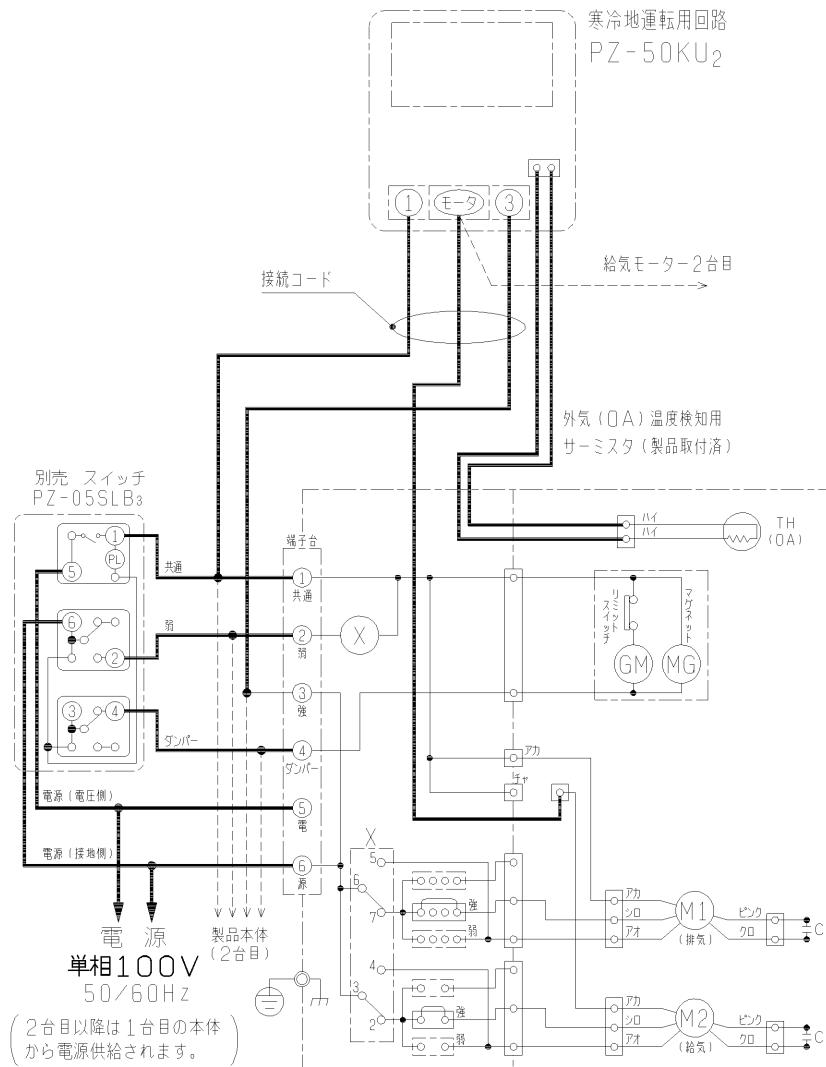
LGH-15RHW₃・50RHW₃・50RHP₃の場合

※複数台運転の場合、製品2台目以降の電源は製品1台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806 の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-15RHW ₃	9	0. 1 1
LGH-50RHW ₃	3	0. 3 3
LGH-50RHP ₃		

※ 組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が1. 0以下まで複数台運転可能です。

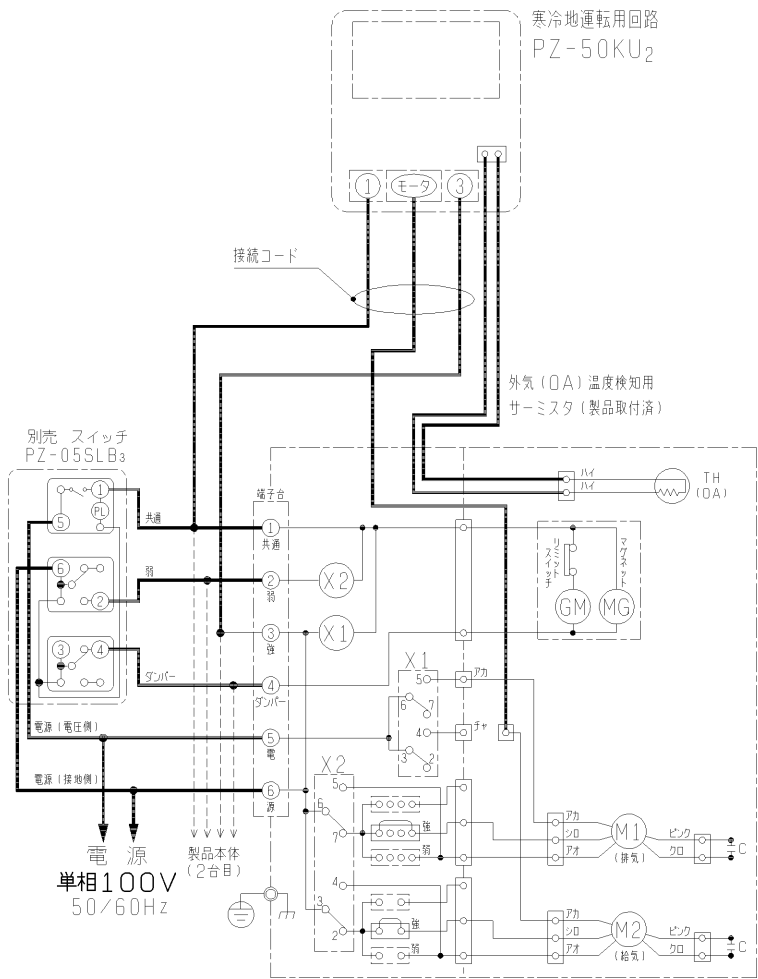


LGH-100RHW₃・100RHP₃の場合

※別売スイッチにてロスナイを複数台運転している場合は、すべてのロスナイに寒冷地運転用回路（PZ-50KU₂）を取り付けてください。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806 の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
LGH-100RHW ₃	1	1. 0
LGH-100RHP ₃	1	1. 0



（2台目以降の本体にも(電)(源)端子には(送風機運転用)電源を各々供給してください。
 尚、1台目と2台目以降の(5)(電)及び(6)(源)端子の極性は、各々必ず合せて接続してください。
 (回路が損傷します。)



三菱電機株式会社
 中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

三菱業務用ロスナイ用システム部材 寒冷地運転用回路

形名

PZ-50KU₂

対象機種名

学校用ロスナイ 天吊露出形 SCH-40ES, 50ESH

学校用ロスナイ 床置形 SCF-40, 50LS

取付工事マニュアル 販売店・工事店さま用

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること	2
特長	2
各部のなまえと外形寸法図	3
仕様	3
間欠運転開始温度の設定	4
取付方法	5～8
試運転	8
結線図	9～11


この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事マニュアルを必ずお読みください。


■ 取付工事は販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。





取付工事が終わりましたらこの取付工事マニュアルは、お客さまに必ずお渡しください。




安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
---	-----------	----------------------------------

	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	-----------	------------------------------------

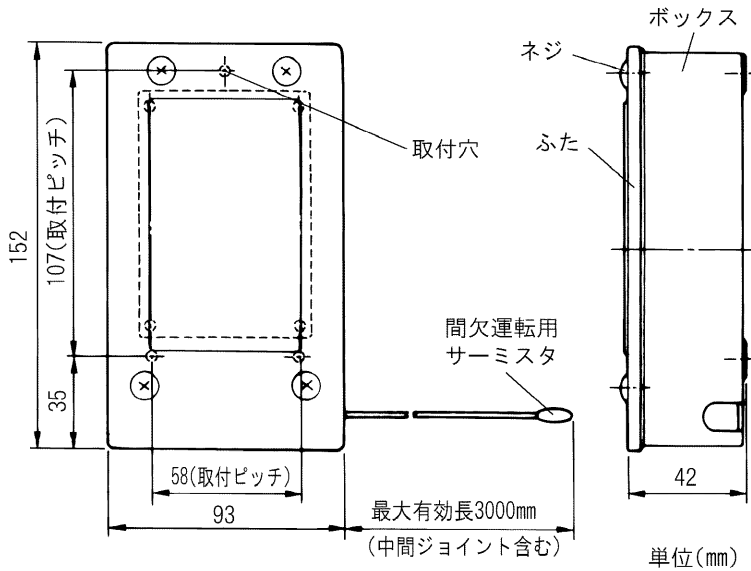
		警告
	分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります
	風呂・シャワー室での使用禁止	浴室などの湿気の多いところには、取付けない 感電や漏電の原因となります
	指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量を使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
		配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
		指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

		注意
	禁止	直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります
	指示に従い必ず行う	取付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります
		取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
		ネジは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります

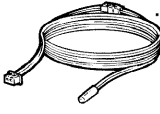








特長

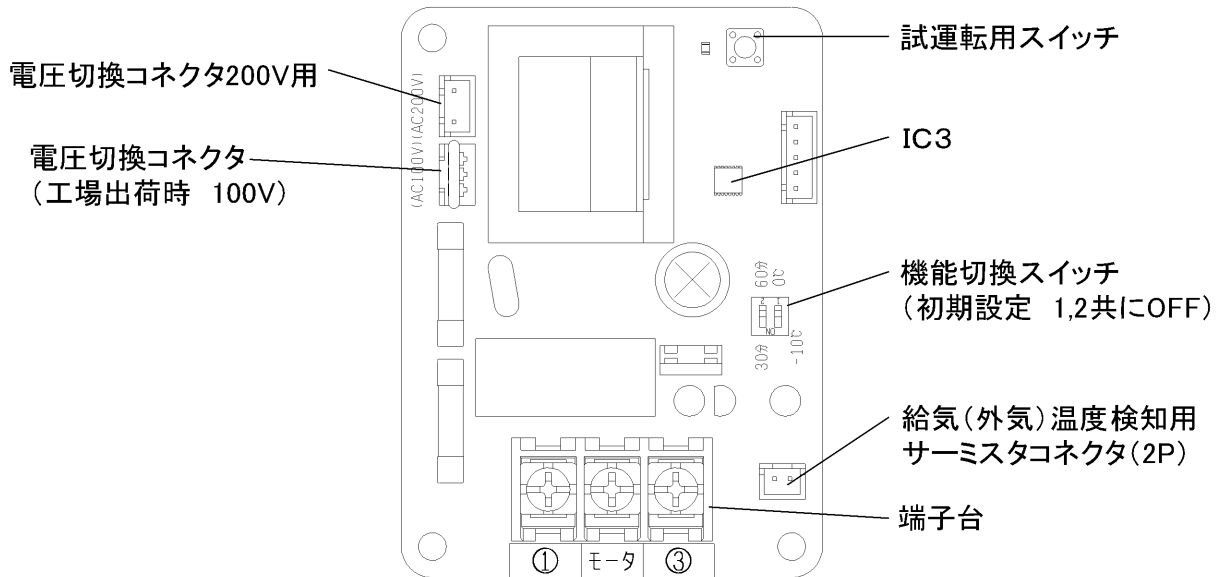
学校用ロスナイにこの寒冷地運転用回路を取り付けることで、給気送風機の間欠運転を行います。

各部のなまえと外形寸法図



付属部品

間欠運転用サーミスタ ……………1個  (リード線3000mm付)	コードブッシュ……………2個 
コードクリップA ……………10個 	チューブ……………1本 
スクリューキャップ ……………3個 	パッキン……………1枚 
取付ネジ……………4本 	コードクリップB ……………1個 コードクリップC ……………大1個 小2個  



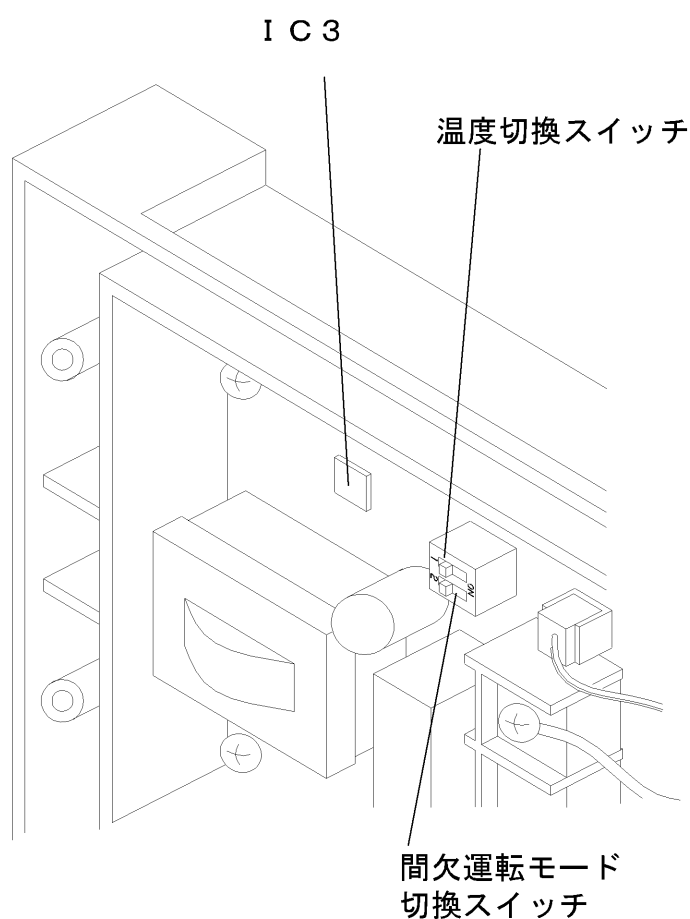
仕様

形名	PZ-50KU ₂		
電源	単相 AC100V・200V* 50/60Hz		
接続方法	端子台接続		
間欠運転仕様	①60分運転10分停止 ②30分運転30分停止 (①、②選択可能)		
運転内容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。 給気温度がさらに低下すると、給気を停止(5分運転5分停止)する。		
間欠運転温度	A. 0℃	B. -10℃	(A、B選択可能)
給気停止温度	A. -10℃	B. -15℃	(A、Bは間欠運転温度に各々連動)
感熱部	給気温度検知用サーミスタ(間欠運転用)		
質量	0.4kg		

※電源仕様の設定

100V、200Vの設定は、PZ-50KU₂本体内部の電圧切換コネクタを切り換えることによりおこなってください(出荷時は100V仕様です)。誤って設定した場合は、回路が破損する恐れがあります。

間欠運転機能の設定



1. 寒冷地運転用回路ボックスのふたを締め付けているネジ(4本)を外します。
2. 温度切換スイッチがOFF (0°C)であることを確認します。
3. 間欠運転モード切換スイッチをON側にスライドさせ、間欠運転仕様を30分運転30分停止に設定します。

お願い

スイッチを切換える際にI C 3に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

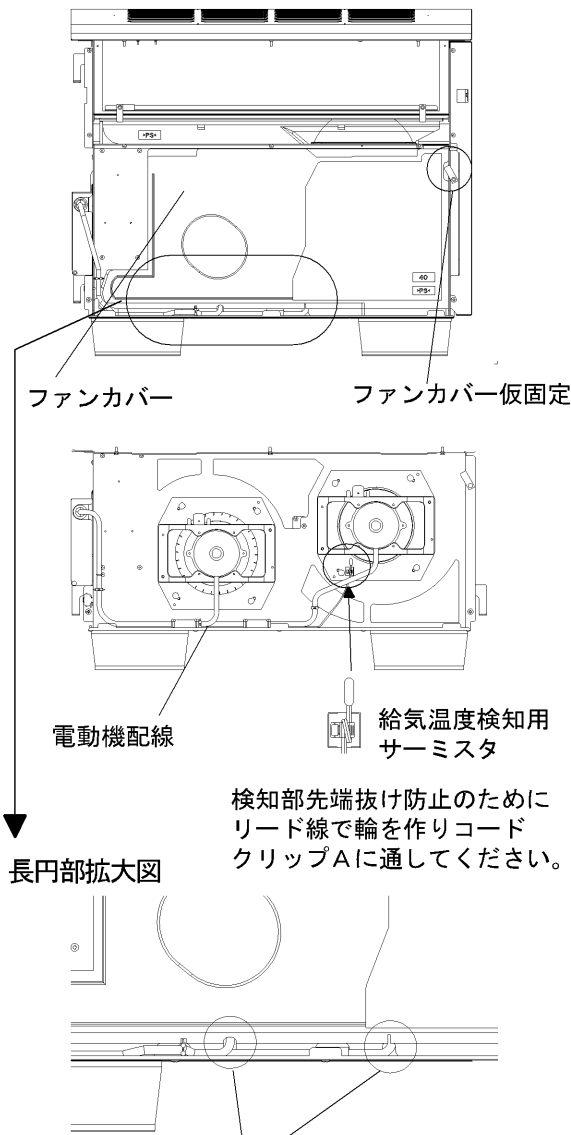
取付方法

学校用ロスナイの場合

給気（OA）温度検知用サーミスタの取付方法

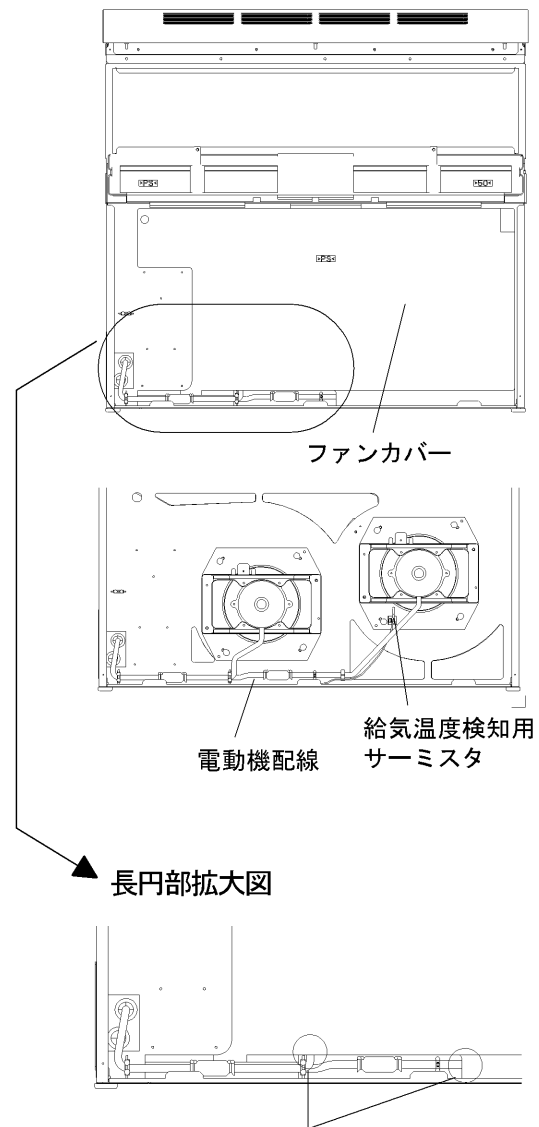
1. 製品付属の取付工事説明書を参考に、フロントパネル、サイドカバー、フロントカバーを取り外します。
2. ファンカバー仮固定を外し、ファンカバーを取り外します。（SCF-50LSにはファンカバー仮固定はついていません。）
3. 下図の位置に付属の給気温度検知用サーミスタを付属のコードクリップAで左図の位置に固定し配線します。
4. 配線終了後、ファンカバーを元通り取り付けて、サーミスタを電動機配線に沿うように配線します。

●SCH-40ES、SCF-40LSの場合



電動機配線および給気温度検知用サーミスタの配線をファンカバーの切欠き部（図の2ヶ所）を通して、ふたをしてください。

●SCH-50ESH、SCF-50LSの場合



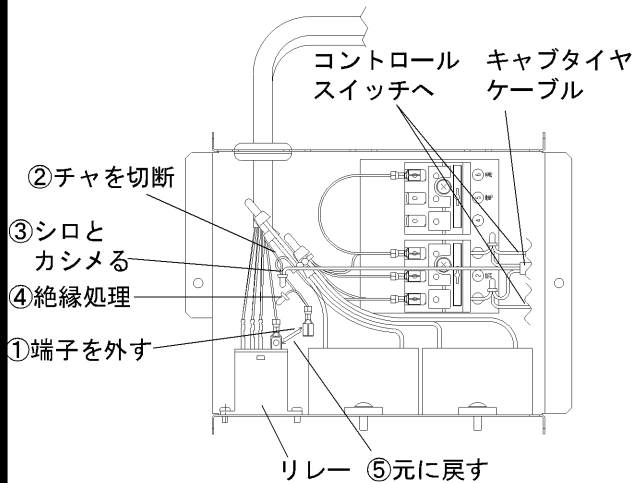
電動機配線および給気温度検知用サーミスタの配線をファンカバーの切欠き部（図の2ヶ所）を通して、ふたをしてください。

1

取付方法 つづき

学校用ロスナイの場合

●SCH-40ES、50ESH、SCF-50LSの場合

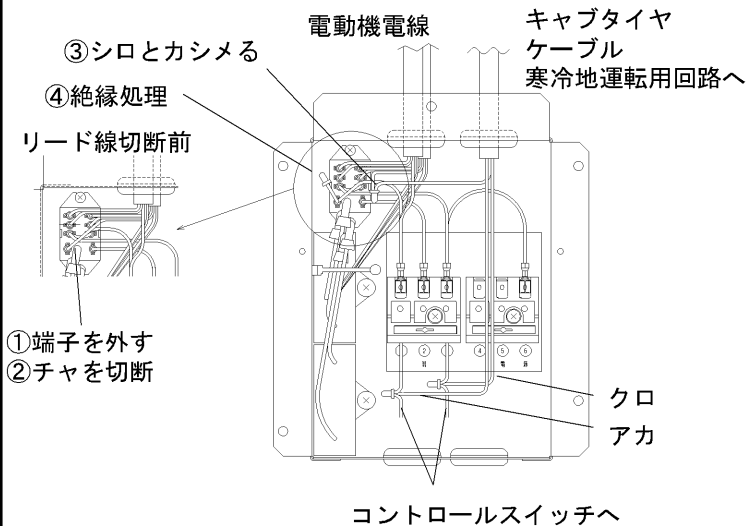


ロスナイ本体側結線工事方法

端子台カバーをあげ、図を参照しロスナイ本体側の電気工事を行ってください。

1. リレー端子より、チャ、アカが共カシメしてあるリード端子を外します。
2. 外した端子の給気用電動機共通線(チャ)を切断します。
3. 2で切断したリード線のモータ中継コネクタ側をキャブタイヤケーブルのシロと市販の絶縁被服付圧着端子等で接続し、絶縁処理します。
4. もう一方のリレー端子側は市販の絶縁被服付圧着端子等でカシメて確実に絶縁処理を行います。
5. 外したリード端子を元に戻します。
6. キャブタイヤケーブルの残り2本を速結端子の①にアカ、③にクロを接続します。

●SCF-50LSの場合



メモ

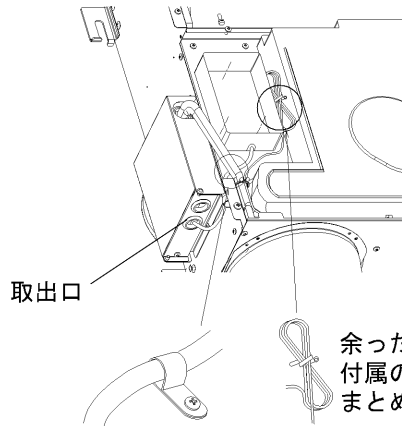
圧着端子およびキャブタイヤケーブル (VCT 3芯1.25mm²) はお客さま手配となります。(約1m)

取付方法 つづき

学校用ロスナイ

寒冷地運転用回路ボックスの取り付け

- SCH-40ES, 50ESH, SCF-40LSの場合 (図はSCH-40ES)



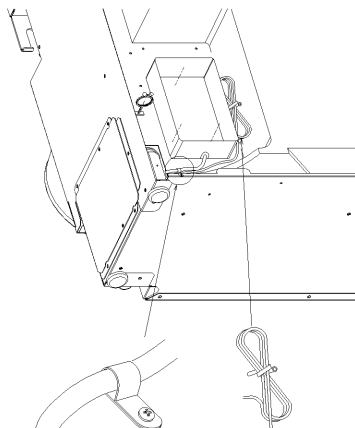
1. キャブタイヤケーブルを端子台カバーの取出口より取り出してください。
2. 寒冷地運転用回路ボックスを左図の箇所に付属のねじ3本で取り付けます。
3. キャブタイヤケーブルを、付属のねじ1本とコードクリップC (大) で固定します。
4. 余ったサーミスタリード線を、付属のコードクリップBでまとめておきます。

キャブタイヤケーブルを付属のコードクリップC (大) で固定しておきます

余ったサーミスタリードを付属のコードクリップBでまとめておきます

3

- SCF-50LSの場合



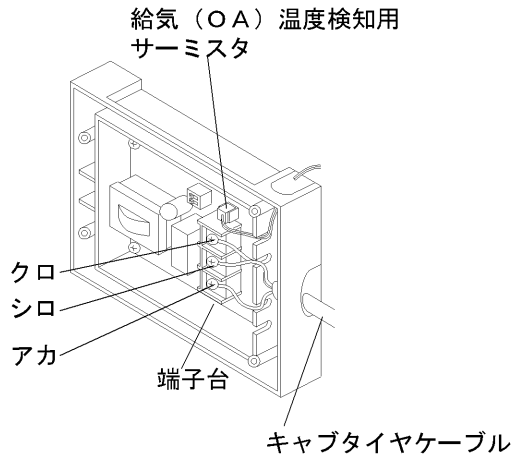
キャブタイヤケーブルを付属のコードクリップC (大) で固定しておきます

余ったサーミスタリードを付属のコードクリップBでまとめておきます

取付方法 つづき

学校用ロスナイ

4



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

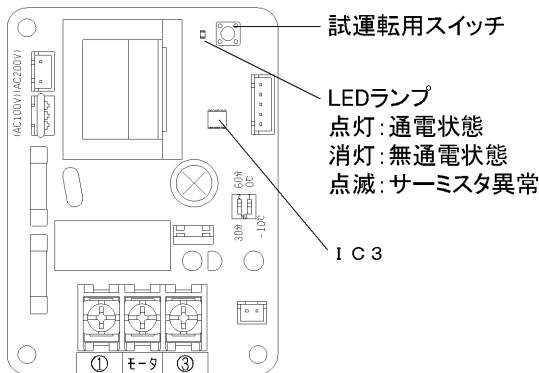
図のように回路ボックス側への電気工事を行ってください。

- 2で接続したキャブタイヤケーブルを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、モータにシロ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続します。
- 1で配線した給気(OA)温度検知用サーミスタを基板上コネクタCN1(2P)へ差し込みます。
- 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。

試運転

ロスナイ本体の取付工事および電気工事が終わりましたら、結線が間違っていないか確認して試運転を行ってください。

- 寒冷地運転用回路ボックスの試運転を行う前に、必ずロスナイ本体の試運転を本体の据付要領説明書に従って行ってください。
- ロスナイ本体を運転させながら次の確認を行ってください。



- ねじ(4本)を外し寒冷地運転回路ボックスのふたを取り外します。
- 基板上的試運転用スイッチを押します。
 - 押し続けた状態で給気用送風機が停止するか確認します。
- 回路ボックス用カバーを元通り取り付けます。

■給気用送風機が停止しない場合
給気用送風機が停止しないときは誤結線です。
電源を切り、結線図を見て正しく結線し直してください。

お願い

試運転スイッチを押す際にIC3に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります。)

結線図

※太線および破線部分を結線してください。

SCH-40ES, 50ESH, SCF-40LS, 50LS の場合

※複数台運転の場合、製品 2 台目以降の電源は製品 1 台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806 の裸圧着スリーブの”突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
SCH-40ES	5	0. 2
SCH-50ESH	4	0. 2 5
SCF-40LS	5	0. 2
SCF-50LS	4	0. 2 5

※ 組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が 1. 0 以下まで複数台運転可能です。

